



2019年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年3月8日

上場会社名 株式会社鳥貴族

上場取引所 東

コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 2019年3月12日

配当支払開始予定日

2019年4月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第2四半期の業績(2018年8月1日～2019年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第2四半期	17,843	8.1	359	59.7	340	60.2	53	90.2
2018年7月期第2四半期	16,509	18.5	891	51.0	855	47.8	547	30.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第2四半期	4.63	
2018年7月期第2四半期	47.21	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年7月期第2四半期	17,366	6,909	39.8
2018年7月期	18,789	6,902	36.7

(参考) 自己資本 2019年7月期第2四半期 6,909百万円 2018年7月期 6,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期		4.00		4.00	8.00
2019年7月期		4.00			
2019年7月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年7月期の業績予想(2018年8月1日～2019年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,864	5.6	678	59.7	608	62.3	356	153.8	30.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2019年3月8日)公表いたしました「特別損失の計上及び第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年7月期2Q	11,622,300 株	2018年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	2019年7月期2Q	34,738 株	2018年7月期	34,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年7月期2Q	11,587,570 株	2018年7月期2Q	11,587,600 株

(注) 当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いておりましたが、海外経済においては米国を中心とした保護主義的な通商政策が及ぼす影響等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食事業におきましては、人件費・原材料・輸送費の高騰等を背景に経営環境は引き続き厳しい環境にあります。天候不順や自然災害など一過性要因を除いても、業界全体感としてやむを得ない状況が続いております。

当社におきましては、人件費等のコスト高を背景とした28年ぶりの価格改定を2017年10月に実施したこと等から客数が減少し店舗の収益力が低下するという結果となりました。また、出店時の売上高計画に対して未達で推移する店舗が多く発生するとともに、既存店の近隣に追加出店した店舗での自社競合が発生し、既存店売上高が前年を下回り推移しました。

このような状況の中、当社では、さらなる新規出店よりも既存店の売上強化が最重要課題であると認識し、既に出店予定である店舗を除き、新たな出店を取りやめるとし、既存店の売上を強化するため顧客価値の向上と人材基盤の強化を重点課題として取り組むとともに、収益基盤の強化に取り組んで参りました。

なお、当第2四半期累計期間は関東圏及び東海圏を中心に17店舗の新規出店を行い、当第2四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は678店舗（前事業年度末比13店舗純増）となりました。当社の直営店につきましては、当第2四半期累計期間は13店舗の新規出店を行い、当第2四半期会計期間末日においては434店舗（同11店舗純増）となりました。一方、当事業年度において、21店舗の不採算店・自社競合店の退店を計画しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間は、既存店売上高は前年同期比92.1%と厳しい状況が続いておりますが、前期に出店した店舗の売上が通年で寄与したこと等により売上高は17,843,347千円（前年同期比8.1%増）、売上総利益は12,556,664千円（同10.1%増）、販売費及び一般管理費は12,197,654千円（同16.0%増）となり、売上が低調に推移したことが影響し、営業利益は359,010千円（同59.7%減）、経常利益は340,369千円（同60.2%減）となりました。また、撤退予定店舗の資産の減損損失を175,669千円計上したことにより、四半期純利益は53,602千円（同90.2%減）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は17,366,244千円となり、前事業年度末と比較して1,423,083千円の減少となりました。これは主に、新規出店した店舗設備の支払い及び法人税等の納付等により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は10,456,416千円となり、前事業年度末と比較して1,430,110千円の減少となりました。

当第2四半期会計期間末の純資産は6,909,828千円となり、前事業年度末と比較して7,026千円の増加となりました。これは利益剰余金が、四半期純利益の計上により増加した一方、配当金の支払いにより減少したこと等によるものであり、自己資本比率は39.8%（前事業年度末は36.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月期の通期業績予想につきましては、上期の業績動向を鑑みた結果、売上高及び各段階利益が前回予想を下回る見込みであることや、不採算店舗の固定資産について追加の減損損失の計上を見込むことから、2019年7月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（2019年3月8日）公表いたしました「特別損失の計上及び第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社は、2017年9月20日に公表した中期経営計画「うぬぼれチャレンジ1000」（2018年7月期～2021年7月期）を取り下げることを見事決断いたしました。収益性改善のため中期経営目標として掲げておりました「営業利益率8%」については、引き続き経営目標として取り組むこととしており、当該目標達成のための方針として（1）「鳥貴族」店舗網の再構築、（2）「鳥貴族」ブランドの再構築、（3）コスト管理体制の再構築の3つの事項を掲げ、実施・検討しております。

詳細については、本日（2019年3月8日）公表いたしました「中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,385,149	3,209,913
売掛金	309,343	310,214
商品及び製品	138,940	130,364
原材料及び貯蔵品	25,971	28,076
その他	848,823	777,739
流動資産合計	5,708,229	4,456,308
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,536,673	8,554,002
その他(純額)	1,881,115	1,710,966
有形固定資産合計	10,417,789	10,264,968
無形固定資産		
	79,715	81,408
投資その他の資産		
差入保証金	1,773,849	1,737,428
その他	810,290	826,129
貸倒引当金	△546	-
投資その他の資産合計	2,583,593	2,563,558
固定資産合計	13,081,098	12,909,936
資産合計	18,789,328	17,366,244
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,067,508	1,035,510
1年内返済予定の長期借入金	992,962	879,284
未払金	1,557,111	1,459,896
未払法人税等	573,625	246,583
賞与引当金	296,683	321,266
株主優待引当金	26,497	29,836
その他	2,978,701	2,119,526
流動負債合計	7,493,089	6,091,903
固定負債		
長期借入金	1,926,439	2,087,966
退職給付引当金	74,424	82,959
役員株式給付引当金	10,662	10,662
資産除去債務	1,147,724	1,128,459
その他	1,234,185	1,054,465
固定負債合計	4,393,437	4,364,512
負債合計	11,886,526	10,456,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,829	1,491,829
資本剰余金	1,481,829	1,481,829
利益剰余金	4,018,947	4,026,060
自己株式	△89,804	△89,891
株主資本合計	6,902,801	6,909,828
純資産合計	6,902,801	6,909,828
負債純資産合計	18,789,328	17,366,244

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
売上高	16,509,176	17,843,347
売上原価	5,101,358	5,286,683
売上総利益	11,407,818	12,556,664
販売費及び一般管理費	10,516,784	12,197,654
営業利益	891,033	359,010
営業外収益		
受取利息	119	96
受取補償金	1,596	5,149
補助金収入	-	3,842
保険解約返戻金	2,385	3,282
受取保険金	589	5,817
その他	4,689	4,020
営業外収益合計	9,380	22,208
営業外費用		
支払利息	29,294	34,312
支払手数料	6,233	1,186
たな卸資産廃棄損	7,203	-
その他	2,584	5,351
営業外費用合計	45,315	40,849
経常利益	855,098	340,369
特別利益		
固定資産売却益	14,476	-
特別利益合計	14,476	-
特別損失		
固定資産除却損	437	3,351
減損損失	-	175,669
その他	45	-
特別損失合計	482	179,021
税引前四半期純利益	869,092	161,347
法人税、住民税及び事業税	343,722	144,241
法人税等調整額	△21,719	△36,496
法人税等合計	322,003	107,745
四半期純利益	547,089	53,602

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

【セグメント情報】

- I 前第2四半期累計期間(自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第2四半期累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。